

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678700081
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム わせ
所在地	鹿児島県奄美市住用町大字和瀬字里136番地2 (電話) 0997-56-2088
自己評価作成日	平成30年2月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(1) 認知症高齢者が安心して暮らせるため、また入所者の認知症の進行が穏やかになるように支援に力を入れていきたい。そのために個々のスタッフが活き活きと働き、自己研鑽に励むとともに、研修、教育環境も充実させていきたい。

(2) 地域に密着した施設として、地域の皆様とともに様々な行事を通して交流を深めていきたい。また、災害時の地域拠点としても積極的に活用してもらえよう、訓練なども共同で開催していきたい。また、地域雇用にも協力し、区長さん等へ、また、区長からも地元の方の雇用の相談にのり、地域に密着させていきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは車椅子に乗って体重測定ができる体重測定機器を導入しており常時車椅子を必要とする利用者の身体負担に配慮している。
- ・利用者の定期受診の帰りに遠回りしてドライブに出掛けたり、刺身を買って帰ったりする等の楽しみの支援を提供している。
- ・ホームがある集落に複数の職員が居住しており、緊急時対応が可能である。
- ・褥瘡が発症していた利用者への対応として、職員が2時間毎の体位変換を行い、食事や居室・ホールでは円座を置いて状態改善を図っている。
- ・職員は行事毎に室内装飾品を手作りして飾っており、今年の正月の門松も手作りの門松で正月を迎えている。
- ・訪問歯科医を利用して入れ歯や歯の洗浄方法などを指導してもらい、職員も利用者も歯に対する知識を深め、毎食後入念に歯磨きを行う様になっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「自由に」「ゆったりと」「その人らしく」の理念を掲げ、地域においてはこちら側から積極的に出向きコミュニケーションを広げる努力をしている。</p>	<p>理念は利用者との関わりの中から全職員で話し合っってホーム独自の理念を作成している。職員は理念を中心に利用者とし、その人らしくゆっくりと生活を送ることを心掛けている。職員は理念を共有し実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>天気の良い日には、近隣の散歩などを行い、道で会う方達とあいさつなど交わし過ごしている</p>	<p>ホームがある集落に複数の職員が居住しており、地域の行事に参加している。集落民から時折差し入れや台風の時ホームの駐車場を集落民に開放している。ホームの行事に来てもらったり、小学生との交流や職場体験学習の受け入れも行っている。町民のボランティアは利用者の衣類の名前付けを行ったりしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>運営推進会議などで、認知症の日常の様子や関わりを伝え、理解を深めるとともに、ボランティアなどを積極的に受け入れている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>偶数月の第4木・金曜日を基本に会議を実施、利用者の状況報告、行政や地域の方々の意見を取り入れ、サービス向上につなげている</p>	<p>会議は定期的に年6回開催されており、ヒヤリハットの報告や外部評価の報告を行っている。参加者から訪問歯科診療の意見が出され、義歯の手入れや口腔ケア・歯の洗浄方法を学び、毎食後、歯磨きの声掛けを行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>サービスで不明な点などについては、随時照合しなほら連携を取っている</p>	<p>町担当者とは常に連絡を取っている。生活保護担当者に入所前の生活状況を聞いたり、町担当者もホームを訪問して現状の聞き取りを行い、自治体主催の研修会に参加するなど、日頃から連携を密に取り合っ協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会とケア時に禁止対象となる行為かの確認を行いながら行っている</p>	<p>年に2回、身体拘束をしないケアについて話し合っており、マニュアルもある。外出を好む利用者には職員の連携で利用者に同行し戸外の空気を楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束同様に勉強会などを実施し、虐待が起きないように注意を払っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度の事案はありませんが、定期的な勉強会などで、理解を深めていきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者が中心となって、契約に関する事項、重要事項を丁寧に説明し、理解、納得を得るように努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会訪問時や意見箱などで意見や要望を集約、また、法人のグループで職員、入所者、家族向けアンケート調査を実施し運営に反映させている、居室担当者が定期的にご家族へ近況報告を送っています</p>	<p>意見箱を出入り口に設置している。利用者の思いを聞きながら、職員で話し合い支援している。家族の面会時に要件を伝え要望を聞いている。電話で話す事が多い。「本人ができる事は本人にさせて欲しい」との要望が家族から出ており、支援に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、ミーティング実施し、要望、提案事項などを集約、日々の業務での意見・提案も随時発信を受け運営に反映させている</p>	<p>月1回ミーティングがあり、「季節毎に行事ができるようにして欲しい」との意見があり、今年の正月にバーベキューを行っており、来年は餅つきをする計画である。意見が出た時はみんなで話し合っ役割分担して実践している。利用者のケアに関して食事摂取の方法などの意見が出て実践で対応し、出された意見や提案は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々に面談等を実施し、課題や目標などについて確認し、向上心を持って働けるように配慮している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>○JTを通して、気が付いたらその場で指導、助言などを行うとともに、行政や社協などが主催する研修への参加を案内・促している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人グループ内のグループホーム同士の交流や、グループホーム協会などが主催する交流会、研修会を通しての同業者のネットワーク作りをし、サービスに役立てる活動を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>介護サービスの基本である、「受容」「傾聴」「共感」を軸に、信頼関係を築く支援に努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会訪問時などに、最近の様子をお伝えしたり、ご家族の要望などをこまめに聞きながら関係作りに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>施設サービス計画書作成時に、アセスメントをしっかりと行い、その人の持つ残存機能を活かした支援に心がけている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご自分で出来ることは、ご自分で極力できるように、常に励ましながら支援を行い、お互いに信頼関係を築く努力をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは、随時話し合いをしながら、ご本人にあったサービスの提供を模索し、ご家族が支援できる部分は協力をお願いしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の生活歴など把握し、利用者希望の馴染みのお店で買い物や理髪店などを継続利用、地元を訪れたりするなど配慮している	職員が同行して2ヶ月毎に馴染みの理髪店に出掛ける利用者や馴染みの店に職員と一緒に車で買物に出かける利用者もいる。又、墓参りの要望の利用者と一緒に他の利用者も連れて帰りに外食を楽しんでもらっている。家族や友達が面会に来たり近所の友人が訪ねて来たりする等馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性など配慮し、座席配置や共同作業などスタッフが間に入り利用者同士が関わり合えるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的にお便りや、電話等で様子を伺ったりして関係性が途切れない様に配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限りご本人の意向を中心に計画書を作成し、短期→長期目標を定めるように努めている	家族から状況を聞いたり、本人から思いが聞けるように努めている。申し送り時に記録し、話し合っている。意向の把握が困難な場合は、入浴時や食事中に好きな食べ物の話題から、思いを把握し、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員に居室担当を持たせ、その人の生活歴を把握し、出来る限り生活の継続性を重視して支援を心がけている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の体調や精神状態などの変化は記録に残し、管理者へ報告、職員で共有し現状の把握に努めながらの支援を心がけている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回の個人カンファレンスで、ご家族の意向、課題、目標などを話し合い計画へ反映させている	本人や家族・関係者からも聞き取りを行い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行っており、介護計画は身体状況に応じてその都度変更し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録へ気がついた事、いつもと違う様子は積極的に記録し、職員間で情報共有できるように心がけている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通り一編の支援ではなく、その時に状況に応じた、出来るだけ臨機応変に対応できるように心がけている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小さな集落に立地しているので、こちら側から出向いて行き、集落主催の行事に参加しながら心豊かな暮らしが出来るよう配慮に努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診を軸に、かかりつけ医と連携し、既往歴などが悪化しないように配慮している	本人や家族の希望のかかりつけ医で受診できるよう支援している。1ヶ月に1回のかかりつけ医での定期受診の時に家族と一緒に行く利用者もいる。年1回の受診時は家族も付き添っている。急変時の時は家族に連絡を入れ一緒に付き添って対応している。状況によって救急車を呼んで搬送している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職は配置していないため、管理者へ報告し、かかりつけ医へ連絡、連携し、病気の早期発見、早期受診で重篤化しないよう配慮している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が発生した場合、ご家族や医療機関と連絡をとりながら、スムーズな治療と治療後に安心して戻れるよう医療機関とも連携が取れている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化しない様に、体調の変化時は、主治医へ報告とともに、ご家族への連絡、意向を調整し、話し合いのもとにて支援を行っています</p>	<p>重度化や終末期に向けた話し合いを入所の時に行っている。ホームとしては終末期ケアを対応しておらず食事を摂取できなくなった時や状態変化があった時は、主治医に連絡し家族に伝え対応を話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル作成し、ファイルにて準備し、急変、事故時に対応できるよう準備している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間で計画を立てて、避難訓練を実施</p>	<p>年3回、火災や地震を想定した災害避難訓練を実施している。年1回消防署立ち会いの下、夜間を想定し実施している。市主催の災害避難訓練に合わせて集落の住民と合同で行っている。ホーム3階の屋上が避難場所となっている。非常ベルや消火器の使用方法の訓練も行っている。備蓄として1週間程度の水・カップラーメン・紙オムツ・暖を取る為の毛布などを準備しており、水は定期的に入れ替えている。スプリンクラーや発電機も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者のお一人お一人に対し、常に丁寧な温かい言葉かけを心がけている</p>	<p>トイレに誘導した後はドアを閉め、開けっ放しにしないよう気をつけている。プライバシー確保の為、部屋の入口にカーテンや暖簾を付けたりしている。ポータブルトイレでの排泄支援は二人で対応している。管理者は職員の不適切な言動に気づいた時は即座に指導している。職員間でも注意し合っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人が、やりたいことができるよう「傾聴」の姿勢で支援するよう心がけている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人の意思を尊重し、できる限りご希望に添った支援ができるよう心がけている</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご本人が好きな洋服や、身だしなみなど、ご本人にできるだけ決めていただくよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時間はスタッフも一緒に座り食事内容を説明、食べたい物を聞いて作ってます、食器拭きや片付けができるよう配慮している	利用者個々の力を活かし野菜の下拵えやテーブル拭きなどを職員と一緒にしている。たけのこの皮むきの時に食べれる所と食べれない所を職員に教える利用者もいる。利用者に嗜好調査を行って、ドライブで外出に行ったり戸外で椅子に座っておやつやお焼きを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量など、一人ひとり注意しながら観察し、毎食安心して食事などが楽しめるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回、訪問歯科にて口腔ケア、義歯治療、作成を行って、個々のケア方法の指導も毎回頂き、食後の口腔ケアを実施し、支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗などがあっても、とがめずに、励ましながら何度でも挑戦できるよう個人に合わせて支援している	排泄チェック表を見ながらトイレ誘導を行っている。同性職員による排泄支援を行っている。下着が汚れた時や便の訴え時などに職員に合図する利用者もおり、個々の排泄パターンを把握しトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対策 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のコントロールについては、職員間で状況をしっかりと把握し、食事、運動、下剤の与薬や医師の指導などで予防、工夫している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、ご本人が入りたいタイミングを優先し、決して強制せず支援している	毎日、午前や午後に入浴が楽しめる様支援しており、好みのシャンプーや石鹸を使って入浴を行っている。夏場は毎日入浴を楽しむ利用者もいる。冬場は足浴を楽しんだ後に湯壺での入浴を支援している。浴槽に入れない利用者もお入り足浴しながらシャワー浴で対応している。入浴後は冬場と乾燥肌の利用者には保湿用にベビーオイルとワセリンで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝の起床時間やお昼寝の時間などは、個人のペースに合わせ、声かけを行い、気持ちよく休む事ができるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	既往歴よ薬剤の関係を職員がしっかりと把握し、飲み忘れが発生しないよう、毎日確実に服薬の支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	周辺への散歩、ドライブやカラオケなどでいっも気分転換ができるよう配慮している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は、近隣への散歩を実施、時には遠方へのドライブに行き、閉じこもりにならないよう配慮している	日常的にはホームの庭に出たり、近隣を散歩したりして、日光浴を楽しんでいる。利用者が行きたいところに行けるよう要望を聞きながら外出支援を行っている。墓参りや食材の買物時に一緒に車に乗って外出を楽しんでいる。1年に1回は教会に出かけている。桜の花見や利用者から要望がある時はその日の状況を見ながら外出支援を行っている。子供が帰省した時やお盆は家に帰る利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物で本人が欲しい物、食べたい物などを買いに行ったりして満足していただけるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	定期的に自宅等へ電話をかけた後、手紙などが届いたときには、職員も一緒になって喜ぶなど配慮をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、リビングや居室、トイレ、洗面所の清掃を行い清潔保持に努めるとともに、空調なども調整、季節毎で飾りつけを一緒に作成し快適に過ごせるよう配慮している	ホールは明るくて広い。温・湿度計で調整されている。利用者は歌を歌ったり、洗濯物をたたんだりして、好きな事をしてくつろいでいる。掃除が行き届いて清潔である。壁には季節の飾りつけや行事の写真が掲示している。アルバムもホールの棚に置いてあり、居心地よく生活できるように支援を行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者同士の関係性を配慮し、座席の配置なども工夫しながら、思い思いに過ごせるよう配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたもの（椅子、小物など）をできるだけ持ってきていただき、居心地の良い環境になるよう配慮している	居室は自宅で使用していた椅子やタンス・テレビなどの家具や家族の写真などを飾っている。風邪やインフルエンザなどの感染症対策で温・湿度計も設置し、状況によっては濡れタオルを下げる等の配慮をしている。仏壇を持ち込んでいる利用者もおり体調がいい時は手を合わせたりするなど個々の状況に合わせた配置がされており居心地良く暮らせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	張り紙、目印をつけたり、動きやすい、近いことで一人でトイレに行きやすく工夫、配慮を個人個人でしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない